

日本地衣学会 No.169

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次

| | |
|-----------------------------------|-----|
| 会務報告 | 661 |
| 日本地衣学会評議員会（メール会議：2022年8月31日-9月9日） | |
| 議事録／坂田 歩美 | 661 |
| 日本地衣学会評議員会（オンライン会議：2022年12月10日） | |
| 議事録／坂田 歩美 | 662 |
| 日本地衣学会第21回大会総会（2022年12月10日，オンライン） | |
| 報告／坂田 歩美 | 665 |
| お知らせ | 665 |
| 事務局からのお知らせ／坂田 歩美 | 665 |
| 訂正／坂東 誠 | 665 |

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会評議員会（メール会議：2022年8月31日-9月9日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting on E-mail, 31 Aug. – 9 Sep. 2022 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2022（令和4）年8月31日（水）～9月9日（金）

参加者（敬称略）：（議長）原光二郎，（評議員）

原田浩，中髙裕之，小杉真貴子，坂東誠，川又明德，

清水公徳，（会長）木下薫，（庶務幹事）坂田歩美，

（会計幹事）川上寛子，（編集委員長）綿貴攻

* * *

今年度の事業計画案（+予算案）とオンライン大会の日程・内容に関して，評議員会で審議が行われました。

また2023年1月1日より小杉真貴子氏に会計幹事を委嘱するとの報告が木下薫会長からありました。

日本地衣学会評議員会（オンライン会議：2022年12月10日）議事録

Report of the JSL Councilors' Meeting (Online), 10 Dec. 2022 / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

開催日：2022（令和4）年12月10日（土）

恋村）。

参加者（敬称略）：（議長）原光二郎，（評議員）

担当：綿貫攻氏（地域活性化委員会，関東）

原田浩，中嶋裕之，小杉真貴子，坂東誠，川又明德，

（2）総会

清水公徳，（会長）木下薫，（庶務幹事）坂田歩美，

日本地衣学会2021年度総会を2021年12月

（会計幹事）川上寛子，（編集委員長）綿貫攻

11日，ウェブ総会の形式で開催した。2021年6

* * *

月20日から12月11日の間に開催された評議員

8月31日（水）～9月9日（金）に開催された評議員会で審議した今年度の事業計画案（十予算案）などが承認されました。承認された内容は以下のとおりです。

会（メール会議）と12月11日オンラインで開催された評議員会での報告事項，審議事項，承認事項について報告した。

（3）学会誌等の発行

I. 2021年度事業報告

①学会誌 Lichenology：第19巻2号（2021年4月25日発行）。

1. 会員数は，2021年12月31日現在171名（一般115，学生13，海外一般25，海外学生7，有功1，団体2，名誉8）で前年度末より5名増加した。

②日本地衣学会ニュースレター：159号（2021年3月24日），160号（5月27日），161号（6月17日），162号（10月7日）を発行，それぞれホームページで公開した。

2. 以下の報告が承認された。

（4）委員会の活動

（1）主催大会，観察会

①地域活性化委員会：第44回青空地衣教室の開催は，コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上，中止した。第17回秋田ワークショップの開催も，コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上，中止した。

①日本地衣学会第20回大会は，小峰正史氏（秋田県立大学）を大会委員長として，秋田県立大学（秋田市）にてオンラインで12月5日～11日に開催された。参加者30名，講演等：一般講演9題，総会終了後，Spatial Chatを用いてオンライン交流会を開催した。

②学術交流委員会：

②第20回学会主催観察会は，コロナウィルス感染症（COVID-19，以下同じ）の流行状況を考慮すると，その開催は困難と考えられたため，中止とした。

・自然史学会連合：1月11日，総会がオンラインで開催された。坂田歩美氏が出席した。分担金は支払わなかった。

※当初計画は以下のとおりでした。

・日本分類学会連合：総会がオンラインで開催された。原田浩会長と坂田歩美氏が出席した。分担金10,000円を支払った。

場所：湯ノ丸高原他（長野県東御市・群馬県嬬

・日本菌学会対応：2021年8月23日～29日

に第 65 回大会がオンラインで開催され、本学会員を中心に、地衣類に関するシンポジウムが 29 日に行なわれた。

・国際地衣学会 (International Association for Lichenology) : 2020 年 8 月にブラジルで開催が予定されていた第 9 回国際地衣学会シンポジウム (IAL9) は、コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上、1 年延期となり、2021 年 8 月 1 日～6 日にオンラインで開催された。

・その他: 日本植物学会についての対応は引き続き事務局で検討する。

③ホームページ運営委員会: 学会誌・ニュースレターなどの過去および未掲載の情報を掲載し、常に最新情報が提供できるように努める。

④国際学会対応委員会: 担当を検討中である。

⑤日本の地衣フロラ解明プロジェクト: 図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして①「海岸生地衣類」を 2020 年にアップした。既に公開している②「房総の地衣類誌」、③「日光の地衣類」とともに活用する形を検討する。「日本産地衣類の DNA バーコーディングのためのデータベース」の学会 HP 内における試験公開を始めており (①に関連して)、更に整備を進めていく (原光二郎氏)。

II. 2021 年度決算報告・監査報告

報告は承認された。

III. 入・退会承認

入会および退会者について承認された。

IV. 2022 年度事業計画

1. 主催大会、観察会

(1) 日本地衣学会第 21 回大会は、川又明徳大会実行委員長 (愛媛県総合科学博物館) によって、12 月 10 日～11 日にオンライン方式で開催。

(2) 第 21 回学会主催観察会の開催は、コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上、中止。

2. 印刷物発行

(1) 学会誌 Lichenology : 第 20 巻 1 号 (2022 年 6 月 30 日発行), 2 号 (2022 年 11 月 10 日発行), 第 21 巻 1 号 (2022 年 12 月発行予定)。

(2) 日本地衣学会ニュースレター: 163 号 (2022 年 2 月 10 日), 164 号 (3 月 1 日), 165 号 (3 月 22 日), 166 号 (5 月 11 日), 167 号 (9 月 19 日) を発行, それぞれホームページで公開, 168 号以降もホームページで逐次公開を予定。

3. 委員会 (各委員長)

(1) 地域活性化委員会

・第 45 回青空地衣教室の開催: コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上、中止。

・第 18 回秋田ワークショップ (秋田県立大学) の開催: コロナウィルス感染症の流行状況を考慮の上、中止。

(2) 学術交流委員会

・自然史学会連合: 12 月 4 日, 総会開催。坂田歩美氏が出席。昨年度と来年度の分担金 40,000 円を支払う。今年度は分担金を徴収しないこととなっている。

・日本分類学会連合: 1 月, 総会およびシンポジウム開催。会長代理で原田浩氏が坂田歩美氏とともに出席。分担金 10,000 円を支払う。

・日本菌学会: 8 月 22 日 (月) ~26 日 (金) に第 66 回大会がオンラインで開催。

・その他：日本植物学会についての対応は引き続き事務局で検討する。

(3) ホームページ運営委員会：学会誌・ニュースレターなどの過去および未掲載の情報を掲載し、常に最新情報が提供できるように努める。

(4) 国際学会対応委員会：担当を検討中である。

(5) 日本の地衣フロラ解明プロジェクト：図鑑改定の一環として「日本地衣類誌」の執筆を検討し、チェックリストの改定作業を進める。ウェブ図鑑は、千葉県立中央博物館のデジタルミュージアムのコンテンツとして①「海岸生地衣類」を2020年にアップした。既に公開している②「房総の地衣類誌」、③「日光の地衣類」とともに活用する形を検討する。「日本産地衣類のDNAバーコーディングのためのデータベース」の学会HP内における試験公開を始めており(①に関連して)、更に整備を進めていく(原光二郎氏)。

4. 学会運営等

(1) 会員数

- ・2021年12月31日：171名(一般115, 学生13, 海外一般25, 海外学生7, 有功1, 団体2, 名誉8)
- ・2022年12月10日現在：171名(一般114, 学生14, 海外一般25, 海外学生7, 有功1, 団体2, 名誉8)

(2) ウィズコロナ(コロナウィルス感染症共存社会)

における活動：大会を中止する場合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機

会を増やすなどの工夫の検討が必要。

V. 2021年度予算案

本予算案は承認された。

VI. 審議事項

1. 学生発表賞の副賞について

オンライン大会に限って、ギフト券で送付する。

2. 来年度以降の主催大会、観察会について

(1) 第22回大会：通常の現地開催の形式に、オンラインを組み合わせたハイブリット形式で開催する方向で検討を進める。コロナウィルス感染症の流行状況次第ではオンライン大会での開催検討する。

※第22回大会(開催候補地検討中、以下は仮の予定)

会期：8月または9月(予定)

会場：東京理科大学葛飾キャンパス(予定)

大会準備委員長：清水公德氏(予定)

(2) ウィズコロナにおける活動：大会を中止する場

合、学会の主要な活動の場が失われるため、何らかの情報交換等の機会を増やすなどの工夫の検討が必要。

VII. その他

特になし。

日本地衣学会第 21 回大会総会（2022 年 12 月 10 日、オンライン）報告

Report of the General Meeting at 21st Annual Meeting of the JSL (Online, 10 December 2022) / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

日本地衣学会第 21 回大会総会を 2022 年 12 月 10 日、オンラインにて開催いたしました。木下薫会長より挨拶があり、引き続き坂田歩美庶務幹事が当日を含め今年度中に開催された 7 回の評議員会での報告事

項、審議事項、承認事項について報告いたしました。皆様のご協力を得まして、滞りなく総会を終了することができました。

お知らせ *News and Announcements*

事務局からのお知らせ

From Secretary of the Society / by SAKATA Ayumi

>>>>>>> 坂田 歩美：庶務幹事

会計幹事交代のお知らせ

2023 年 1 月 1 日より会計幹事が川上寛子さん（秋田県立大学）から小杉真貴子さん（自然科学研究機構基礎生物学研究所）に交代しました。

川上さん 2019～2022 年度までの 4 年間大変お疲れさまでした。新会計幹事の小杉さんどうぞよろしくお願い致します。

訂正

Errata / by BANDO Makoto

>>>>>>> 坂東 誠：ニュースレター編集委員長

ニュースレター No.168 の 657 頁 15 行目（記事間の境界線は行数に含めず）に誤りがございましたので、以下のように訂正いたします。

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたこと、深くお詫び申し上げます。

誤) 21th → 正) 21st

◆原稿募集

本誌は、会員からの原稿を随時募集しています。地衣類にまつわるエピソード、思い出、あるいは地衣類に関する写真とタイトル、簡単な説明文だけでも受け付けます。電子メールにて次のアドレス宛に投稿御願います：

bandomakoto@aa6.mopera.ne.jp（坂東 誠）

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体からの許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会。

Tel: 03-3475-5618. Fax: 03-3475-5619. E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA.
Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization which has been delegated for copyright for clearance by the Japanese Society for Lichenology.

Except in the U.S.A.: Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC).
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan. Tel: 81-3-3475-5618. Fax: 81-3-3475-5619.
E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

In the U.S.A.: Copyright Clearance Center, Inc. 222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA. Phone: (978) 750-8400. Fax: (978) 750-4744.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 169, pp. 661–666: eds. Bando M., Kawasaki E., Tanaka K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 23 Mar. 2023.

日本地衣学会ニュースレター169号

発行日：2023年3月23日

編集：坂東誠・河崎衣美・田中慶太

発行者・発行所：日本地衣学会

〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2

千葉県立中央博物館内

©2023日本地衣学会 (© 2023 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。